

(1) 概要

前年度に引き続き、箕面保育園の年長組園児27名及び職員3名の計30名を招き、障害者やバリアフリーについて考えてもらうため福祉車両や車椅子の見学・乗車体験を12月に実施した。さらに、生活介護事業の利用者との餅つき大会や園児の合唱の鑑賞などの交流を行った。

3月6日に「わかりやすく学ぶ成年後見制度（ミニセミナー＆寸劇）」と題し、一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター大阪府支部から講師を招いての講演会「地域で生きる障害者問題市民講座」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため、開催中止となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	既存8事業見直し協議・対応	ささゆり園内部の協議に留まり、箕面市との具体的な協議までには至らなかった
2	施設利用基準のあり方を検討・協議	多様な目的での施設利用が増えているため、利用を許可する要件である「福祉活動への利益供与」の基準について箕面市に確認を行ったが、明確な基準はないため、引き続きの検討課題となった。
3	障害者等の理解促進に係る啓発事業の実施	前年度に引き続き、箕面保育園の年長組園児27名及び職員3名の計30名を招き、障害者やバリアフリーについて考えてもらうため福祉車両や車椅子の見学・乗車体験を12月に実施した。さらに、生活介護事業の利用者との餅つき大会や、園児の合唱の鑑賞などの交流を行った。 3月6日に「わかりやすく学ぶ成年後見制度（ミニセミナー＆寸劇）」と題し、一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター大阪府支部から講師を招いての講演会「地域で生きる障害者問題市民講座」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため、開催中止となった。 箕面市及び箕面市社会福祉協議会との共催事業として、要約筆記講習会（2コース：手書きコース、パソコンコース）を延べ9回開催し、受講者8名が修了された。

(3) 今後について

障害者社会参加事業（茶道教室・華道教室）やボランティア育成事業等（手話講座、音訳講習会、要約筆記講習会）について、より参加者を増やしていくための方法等を検討し、事業の充実を図っていく。

施設老朽化への対応や中庭の活用について、箕面市と協議しながら改修等の対応を図っていく。

(4) ささゆり園利用状況

	平成30年度	令和元年度	対前年度比
開館日数	317日	315日	99.4%
利用件数	1,662件	1,623件	97.7%
利用件数/日	5.2件	5.2件	100.0%
利用者数	22,194名	23,368名	105.3%
利用者数/件	13.4名	14.4名	107.5%
利用者数/日	70.0名	74.2名	106.0%

事業名		平成30年度		令和元年度		対前年度比 (人数比)
		件数	人数	件数	人数	
障害者社会参加促進事業		41	345	35	269	78.0%
【内訳】	茶道教室	22	205	18	145	70.7%
	華道教室	19	140	17	124	88.6%
ボランティア育成事業		56	758	55	752	99.2%
【内訳】	手話講習会「入門・基礎課程」	36	480	32	418	87.1%
	初級音訳講習会 <令和元年度：中級>	11	83	9	75	90.4%
	要約筆記講習会	9	195	14	259	132.8%
啓発事業（障害者問題市民講座）		1	42	0	0	0%
貸館事業		1,564	21,049	1,533	22,347	106.2%
【内訳】	障害者団体	711	12,248	739	13,786	112.6%
	ボランティアサークル	467	4,895	435	4,624	94.5%
	外郭・行政関係	141	2,327	159	2,656	114.1%
	その他	213	1,547	169	1,250	80.8%
	IT室	32	32	31	31	96.9%
合計		1,662	22,194	1,623	23,368	105.3%

会議室等使用団体数(令和2年3月31日現在)

- ・定期利用団体：39団体（対前年度比2増）
- ・随時利用団体：18団体（対前年度比14減）
- 【合計】 57団体（対前年度比12減）

(1) 概要

新規利用者を含めてより多くの利用者に医療的ケアを実施するため、喀痰吸引研修(実地研修)を6~9月にかけて実施した。職員10名が受講し、新たに利用者7名・延べ74行為の医療的ケアが実施できるようになった。

複数年で計画する宿泊旅行は、1年間の指定管理延長期間中には実施できないため、日帰り旅行を計画し5グループに分けて実施した。

年度途中で2名の利用者が亡くなられたが、3名の新規利用を確保したことにより、利用契約者数は前年度比で1名増(23名)となった。その一方、入院加療等で7名の利用者が1ヵ月以上休所したことから、前年度比で平均利用率は0.5%減少し、介護給付費は約250万円減収となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	介護給付費収入の安定的確保	年度途中で2名の利用者が亡くなられたが、3名の新規利用を確保したことにより、利用契約者数は前年度比で1名増(23名)となった。その一方、入院加療等で7名の利用者が1ヵ月以上休所したことから、前年度比で平均利用率は0.5%減少し、介護給付費は約250万円減収となった。
2	延長支援の実施	前年度より引き続き、個別支援計画に基づき生活介護の延長支援を男性4名、女性2名について実施した。また延長支援の時間を活用し、嚥下機能トレーニング等も実施した。
3	多様な活動支援の検討・実施	複数年で計画する宿泊旅行は、1年間の指定管理延長期間中には実施できないため、日帰り旅行を計画し5グループに分けて実施した。(大阪市立科学館、キリンビール神戸工場、京都鉄道博物館)
4	入浴支援体制の見直し	日中活動に重点を置き入浴サービス開始時間等を随時調整した。週3日勤務の短時間従事者1名(男性)を確保し、入浴支援専属とした。
5	介護職による喀痰吸引等の実施	新規利用者を含めてより多くの利用者に医療的ケアを実施するため、喀痰吸引研修(実地研修)を6~9月にかけて実施した。職員10名が受講し、利用者7名・延べ74行為の医療的ケアが実施できるようになった。 上記研修実施により、生活支援員15名全員が喀痰吸引等を実施できるようになった。
6	重度重複障害者の地域生活に係る調査研究	医療型短期入所を実施している大阪刀根山医療センターの担当者より、重症心身障害者の障害福祉サービスに関する情報収集を行った。
7	医療的ケアの必要な利用者の地域生活支援検討	短期入所を利用できる施設が近隣にないとの医療的ケアの必要な利用者・家族からの声を受け、医療型短期入所を実施している大阪刀根山医療センターの担当者を、11月の家族交流会に招いて情報提供を行った。
8	指定管理者アンケート結果を踏まえた対応	アンケート結果を踏まえて、利用者家族との定期的な交流会(年4回)を行った。
9	感染症対策	今年度も感染制御ラウンド(実地指導)及び感染症防止研修会を6月に開催して16名の職員が受講し、感染症防止知識の向上を図るとともに設備改善・環境整備等のハード面の改善も行った。
10	職員確保	運転手・添乗職員の確保が困難な状況が続いたが、継続的に募集を行い、年度末までに運転手2名・添乗職員1名を確保できた。常勤の看護師を2名体制とし、医療的な支援体制の充実を図った。
11	介護技術の標準化への対応	利用者個別の医療的ケアマニュアルや機能訓練手順マニュアルについて、主治医の指示書や利用者の状況に応じて修正した。
12	腰痛予防対策	介護前体操の実施、移動式リフト・スライディングシート等の導入により腰痛予防対策を行った。

13	地域への情報発信、交流	<p>ブログの更新を年間で計17回行った。</p> <p>2組の新たな音楽ボランティアによる演奏会を、7月と8月に開催した。</p> <p>12月に餅つき大会を開催し、箕面保育園の年長園児及び職員の計30名と交流を行った。</p>
----	-------------	---

(3) 今後について

利用者・家族の高齢化が進むなか、利用者が地域で安定した生活が送れるように相談支援事業所等との連携強化等、支援ネットワークの構築に取り組んでいく。

引き続き感染制御ラウンド（実地研修）及び感染症防止研修会を実施し、感染症対策を充実させていく。

経営の安定化に向けて、新規利用契約者の確保、利用率の向上に取り組んでいく。

(4) 主な活動内容

健康活動（バイタルチェック、ストレッチ、手浴・足浴等）

機能訓練（作業療法士による訓練指導、エクササイズ等）

創作活動（季節を感じる創作、さをり織り、組紐等）

園外活動（買い物、図書館、ドライブ、大学学園祭等）

音楽活動（音楽鑑賞、カラオケ、楽器演奏、中学校吹奏楽部演奏会等）

ゲーム活動（ポッチャ、ボーリング、時限爆弾ゲーム等）

イベント（宿泊旅行、日帰り旅行、バーベキュー大会、年度末イベント等）

(5) 医療的ケアの実施状況（令和元年度利用対象者13名）

内 容		人数	内 容		人数
たんの吸引	口腔内	8名	経管による与薬	胃ろう	2名
	鼻腔内	6名		腸ろう	0名
	気管カニューレ内部	7名		経鼻胃管	2名
経管栄養	胃ろう	6名	吸入		1名
	腸ろう	3名	ブジー		1名
	経鼻胃管	2名	酸素投与(緊急時含む)		2名
			人工呼吸器管理		3名
			合 計(延べ人数)		43名

(6) 在籍者状況（令和2年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
令和元年度	23名	41.3歳	9.6年	85.0%	16.0名
平成30年度	22名	41.5歳	10.2年	85.5%	16.3名

令和元年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	19名	4名	0名	0名	0名	0名

(1) 概要

機械浴槽の老朽化に伴い、箕面市との協議のうえ1台を更新した。
 利用契約者数は11名で年間を通して変動はなかった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	事業の方向性を協議	機械浴槽の老朽化に伴い、箕面市との協議のうえ1台を更新した。
2	新規利用者の募集、確保	利用契約者数は11名で年間を通して変動はなかった。 在宅での入浴支援（ヘルパー利用、移動入浴等）の利用を勧める対応を行った。
3	サービスの質的向上	入浴ヘルパーは男性1名、女性2名を確保した。 当該入浴ヘルパーだけで対応できない時は、生活介護事業の職員で対応した。
4	職員確保と支援サービスの質的向上	

(3) 今後について

引き続き登録ヘルパーの確保に取り組んでいく。
 入浴サービス利用の基準について、引き続き箕面市と協議を行っていく。

(4) 施設入浴サービス利用状況

	平成30年度	令和元年度	対前年度比
実施日数	243日	240日	98.8%
利用者数	642名	636名	99.1%
利用者数 / 日	2.6名	2.7名	103.8%

西小路拠点区分事業活動明細書

(自) 平成31年 4月 1日 (至) 令和 2年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		管理運営事業ささゆり園	生活介護事業ささゆり園	入浴サービス事業ささゆり園	社会福祉増進事業ささゆり園	合計	内部取引消去	合計	
収 益	障害福祉サービス等事業収益	12,363,000	88,909,853	2,540,000	0	103,812,853	0	103,812,853	
	自立支援給付費収益	0	70,660,066	0	0	70,660,066	0	70,660,066	
	特定費用収益	0	1,002,787	0	0	1,002,787	0	1,002,787	
	その他の事業収益	12,363,000	17,247,000	2,540,000	0	32,150,000	0	32,150,000	
	経常経費寄附金収益	0	78,702	0	0	78,702	0	78,702	
経常経費寄附金収益	0	78,702	0	0	78,702	0	78,702		
サービス活動収益計(1)		12,363,000	88,988,555	2,540,000	0	103,891,555	0	103,891,555	
サ ー ビ ス 費 用	人件費	6,744,468	73,321,512	1,905,000	0	81,970,970	0	81,970,970	
	職員給料	866,610	28,574,907	0	0	29,441,517	0	29,441,517	
	職員賞与	234,971	5,698,566	0	0	5,933,537	0	5,933,537	
	賞与引当金繰入	87,222	2,364,955	0	0	2,452,177	0	2,452,177	
	非常勤職員給与	2,767,448	23,378,451	1,905,000	0	28,050,899	0	28,050,899	
	派遣職員費	2,169,191	1,964,444	0	0	4,133,635	0	4,133,635	
	退職給付費用	30,335	3,403,182	0	0	3,433,517	0	3,433,517	
	法定福利費	588,681	7,937,007	0	0	8,525,688	0	8,525,688	
	事業費	0	4,893,922	70,113	0	4,964,035	0	4,964,035	
	給食費	0	820,410	0	0	820,410	0	820,410	
	保健衛生費	0	93,229	0	0	93,229	0	93,229	
	教養娯楽費	0	21,220	0	0	21,220	0	21,220	
	日用品費	0	163,646	0	0	163,646	0	163,646	
	水道光熱費	0	1,336,986	70,113	0	1,407,099	0	1,407,099	
	消耗器具備品費	0	465,429	0	0	465,429	0	465,429	
	保険料	0	93,339	0	0	93,339	0	93,339	
	賃借料	0	492,000	0	0	492,000	0	492,000	
	教育指導費	0	79,383	0	0	79,383	0	79,383	
	車輦費	0	1,328,280	0	0	1,328,280	0	1,328,280	
	事務費	5,512,987	7,015,980	604,164	0	13,133,131	0	13,133,131	
	福利厚生費	18,520	215,360	0	0	233,880	0	233,880	
	職員被服費	0	61,830	0	0	61,830	0	61,830	
	旅費交通費	0	18,120	0	0	18,120	0	18,120	
	研修研究費	8,390	226,094	0	0	234,484	0	234,484	
	事務消耗品費	213,987	990,207	0	0	1,204,194	0	1,204,194	
	印刷製本費	271,636	45,809	0	0	317,445	0	317,445	
	水道光熱費	1,511,390	0	0	0	1,511,390	0	1,511,390	
修繕費	246,968	814,244	0	0	1,061,212	0	1,061,212		
通信運搬費	210,916	254,792	0	0	465,708	0	465,708		
広報費	0	246,152	0	0	246,152	0	246,152		
業務委託費	1,869,063	3,192,234	604,164	0	5,665,461	0	5,665,461		
手数料	0	35,878	0	0	35,878	0	35,878		
保険料	46,764	155,855	0	0	202,619	0	202,619		
賃借料	0	106,952	0	0	106,952	0	106,952		
租税公課	0	6,740	0	0	6,740	0	6,740		
保守料	439,353	370,413	0	0	809,766	0	809,766		
渉外費	0	43,200	0	0	43,200	0	43,200		
報償費	676,000	232,100	0	0	908,100	0	908,100		
減価償却費	200,176	1,953,198	0	0	2,153,374	0	2,153,374		
減価償却費	200,176	1,953,198	0	0	2,153,374	0	2,153,374		
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	-266,750	0	0	-266,750	0	-266,750		
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	-266,750	0	0	-266,750	0	-266,750		
サービス活動費用計(2)		12,457,621	86,917,862	2,579,277	0	101,954,760	0	101,954,760	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		-94,621	2,070,693	-39,277	0	1,936,795	0	1,936,795	
サ ー ビ ス 活 動 外 増 減 の 部	その他のサービス活動外収益	122,492	1,117,200	0	0	1,239,692	0	1,239,692	
	利用者等外給食収益	0	1,084,200	0	0	1,084,200	0	1,084,200	
	雑収益	122,492	33,000	0	0	155,492	0	155,492	
	サービス活動外収益計(4)		122,492	1,117,200	0	0	1,239,692	0	1,239,692
	その他のサービス活動外費用	0	787,350	0	0	787,350	0	787,350	
利用者等外給食費	0	787,350	0	0	787,350	0	787,350		
サービス活動外費用計(5)		0	787,350	0	0	787,350	0	787,350	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		122,492	329,850	0	0	452,342	0	452,342	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		27,871	2,400,543	-39,277	0	2,389,137	0	2,389,137	
特 別 増 減 の 部	拠点区分間繰入金収益	42,346	13,989,593	0	0	14,031,939	0	14,031,939	
	拠点区分間繰入金収益	42,346	13,989,593	0	0	14,031,939	0	14,031,939	
	その他の特別収益	0	24,166,514	0	0	24,166,514	0	24,166,514	
	過年度修正益	0	24,166,514	0	0	24,166,514	0	24,166,514	
	特別収益計(8)		42,346	38,156,107	0	0	38,198,453	0	38,198,453
	拠点区分間繰入金費用	42,346	13,989,593	0	0	14,031,939	0	14,031,939	
	拠点区分間繰入金費用	42,346	13,989,593	0	0	14,031,939	0	14,031,939	
	特別費用計(9)	42,346	13,989,593	0	0	14,031,939	0	14,031,939	
	特別増減差額(10)=(8)-(9)		0	24,166,514	0	0	24,166,514	0	24,166,514
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		27,871	26,567,057	-39,277	0	26,555,651	0	26,555,651
繰 越 活 動 増 減 差 額 の 部	前期繰越活動増減差額(12)	3,343,502	12,459,457	767,997	119,439	16,690,395	0	16,690,395	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	3,371,373	39,026,514	728,720	119,439	43,246,046	0	43,246,046	
	基本金取崩額(14)	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(15)	600,000	0	0	0	600,000	0	600,000	
	施設整備等積立金取崩額	600,000	0	0	0	600,000	0	600,000	
	その他の積立金積立額(16)	0	27,227,000	0	0	27,227,000	0	27,227,000	
	事業運営積立金積立額	0	27,227,000	0	0	27,227,000	0	27,227,000	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		3,971,373	11,799,514	728,720	119,439	16,619,046	0	16,619,046	